



広島豪雨災害「復興ボランティア」に参加！

8月25日、「平成30年7月広島豪雨災害」の復興に向けた連合ボランティアに、連合傘下の産別から80名の仲間たちが参加する中、JR連合の仲間とともにJREユニオンからは菅野執行委員長と秋山執行副委員長が参加した。

この日は、JR西労組神戸地本大内書記長、小出執行委員と共に、個人宅に入り込んだ大量の土砂や木々を清掃する作業を行った。JR連合からはJR西労組をはじめ、JR九州労組やJR東海ユニオンなど各単組から連日参加している。秋山副委員長からは「現在、多くのボランティアの皆さんが支援活動に参加されていますが、復旧に向けて人員確保を含め、今後も引き続き支援が必要だと感じました。」と報告があった。大規模災害の復旧には相当の時間が掛かってしまう。一日も早い復旧・復興のためには、支え合い、助け合いの力が必要である。



甚大な被害は多くの鉄道施設へも

JR連合では、6月28日から7月8日頃にかけて発生した集中豪雨では、西日本各地を中心に甚大な被害を及ぼし、鉄道においては、JR西日本やJR四国をはじめ、JR東海、JR九州などが大きな被害を受け、8月に入っても多くの路線で運休を余儀なくされている。鉄道被災からの復旧、被災した組合員への支援に取り組むとともに、この間の自然災害による鉄道被災等における各種課題について、政策提言につなげていきたいとしており、各種政策課題の解決にむけ、連合や交運労協とも連携をさらに深め、政治・行政や世の中へ訴える活動を継続的に行っていくとしている。(政策News第295号より)

私たちが西日本豪雨による多くの被災地支援、鉄道被災からの復旧・復興のために、参画できる取り組みを実践していかなければならない。

**私たち自身に出来る事を、ともに取り組んでいこう！
救援カンパの協力も宜しくお願いします！**